

ミュージックプロデューサーズ・リサイタルシリーズ vol.4

後藤浩二 クインテット Special Jazz Live

【プログラム】

Memories of You

Caravan

Hope (後藤浩二) 他



後藤浩二
(Piano)



岡林和歌
(Clarinet)



jujusumire
(Vocal)



島田 剛
(Bass)



浅井翔太
(Drums)

2022

10/15[土]

19:00 開演 (18:30 開場)

ザコンサートホール

名古屋・伏見・電気文化会館

名古屋市中区栄2丁目2-5 052-204-1133

○チケット料金○(全席自由)

一般 2,000 円 学生 1,000 円

○チケット取り扱い○

芸文プレイガイド(愛知芸術文化センター内)

☎052-972-0430

ドルチェ楽器名古屋店 ☎050-5807-3564

チケットお申込みご予約はこちらから

ミュージック
プロデューサーズ



公式 LINE



主催・お問合せ/ミュージックプロデューサーズ TEL:090-8338-0613

E-mail:fuku5208@gmail.com

制作協力/一般財団法人ちりゅう芸術創造協会

後藤浩二クインテット Special Jazz Live



後藤浩二 (Piano)

1973年名古屋市生まれ。父親の影響で4歳よりクラシックピアノを始め、南山大学入学と同時にジャズに傾倒、在学中より演奏活動を開始。2002年より毎年のようにオリジナルアルバムを発表、2004年には小曽根 真プロデュースによる、伊藤 君子 (Vo)のアルバム『一度恋をしたら〜Once You've Been In Love』(2004年/Videoarts music)に4曲参加。2005年、J-POPシンガー 竹井詩織里にオリジナル楽曲「くちなし」を提供する。年々活動の幅は広がり2007年3月にはジャカルタで開催された「Jakarta International JAVA JAZZ Festival 2007」に Harvey Mason(ds)とともに「後藤浩二 Trio」として出演、好評を博した。2007年4月プロデューサー&ドラムスに世界最高峰のアーティスト Harvey Mason、ベーシストに Brad Mehldauの右腕 Larry Grenadierを迎えニューヨークで制作された5作目となるトリオアルバム『hope』(2007年/Videoarts music)は大きな話題となった。2009年 岡田勉 (b)、江藤良人 (ds)とのピアノトリオ「the EROS」の1stアルバム『Quiet Thrill』を発表、全国ツアーを行う。またジャズヴォーカリストからの信頼は絶大で多数の作品に参加、クラシック音楽の演奏家との共演も多く、宗次ホールでのコンサートの模様を収録した6作目となるアルバム『後藤浩二 ソロコンサート with ストリングス』(2009年/爽健美舎 SKB)をリリース。2015年3月に全編ソロピアノによるオリジナル楽曲中心のアルバム『LaRencontre〜めぐり逢い〜』を発表。2016年〜2019年まで CBCラジオ「後藤浩二ジャズ魂〜あなたと夜と音楽と〜」のパーソナリティを務める。2019年、the EROSの2ndアルバム「Warm Feelings」を発表、全国ツアーを行う。2021年9月、情家みえ (vo)とのユニット『みえこうじ』に本川悠平 (b)を迎えアルバム「the Rest Of Your Life」を発表、全国ツアーを行う。現在は、名古屋を拠点に国内外で精力的に演奏活動・作曲活動が続けている。kojigoto.web.fc2.com/



jujusumire (Vocal)

アメリカ、メキシコ、日本で育ち、様々な音楽の影響を受ける。高校時代よりアメリカ南部教会専属聖歌隊メンバーとなり音楽活動を開始。ゴスペル音楽や中世教会賛美歌に加えてミュージカルやコーラスアンサンブルグループを中心に活動。アメリカで大学院卒業後、カリフォルニアを拠点として活動。その後アジアに拠点を移し中国医学を学ぶ。台湾老舗ジャズクラブオーナーの勧めがきっかけとなりジャズを歌い始める。現在は名古屋を拠点として東海地区、東京、関西で活動中。



岡林和歌 (Clarinet)

愛知県立芸術大学音楽学部器楽科卒業、同大学院音楽研究科修了。よんでん文化振興財団奨学生。オーディションに合格し、2001年アジアユースオーケストラアジアツアー、2002年にはパシフィックミュージックフェスティバル (PMF)オーケストラに参加。2003年より2012年まで一般社団法人愛知室内オーケストラにてクラリネット奏者を務める。下八川圭介記念第27回高知音楽コンクールにおいて高知音楽優良賞受賞。クラリネットを岡田孝夫、黒岩義臣、故濱中浩一、室内楽を故菅原睦、中川良平、村田四郎、ジャズ理論を後藤浩二の各氏に師事。現在、クラシックを中心に多種多様な音楽ジャンルによる自由な演奏活動を展開。即興や作曲、アーティストとのコラボレーション等も手掛け、レコーディングにも多数参加する傍ら、後進の指導にも積極的に取り組んでいる。

2021年「酒井敦美 光の切り絵展」にて楽曲制作、同時に絵本付き CD『いつもはじまり』をリリース。



島田 剛 (Bass)

1973年東京都羽村市生まれ

幼い頃より楽器に興味を持ち、小学校からエレクトーンを習い始め音楽理論の基礎知識を育んでいく。中学校、高校と主にパンク・ロックのバンド活動をする。ギター、ベース、ドラムすべて経験。様々な音楽を聴く中、高校3年の時、ジャズに興味を持つ。ジャズの名門日本福祉大学入学と同時にジャズ研究会でウッド・ベースを始める。在学中より地元ミュージシャンとのセッションを数多くこなしていく中で腕を磨き、また多くの有名ジャズ・ミュージシャンとの共演を経験。プロとして活動を開始する。97年、村田浩 & ザ・バップバンド参加。全国的な活動を展開。同バンドのアルバムに参加。CUGジャズオーケストラ在籍、現在まで11枚のアルバムに参加。

同バンドで2001年アメリカ西海岸ツアー、Earshot Jazz Festival出演、地元紙で名指しで絶賛される。2002年より、後藤浩二トリオとして3枚のアルバムに参加。幅広い音楽観と安定した技術は多くの共演者の信頼を得、また共演を熱望されるミュージシャンの一人である。イマジネーションあふれるエモーショナルな演奏は多くの聴衆の心もつかんで新しさと懐かしさを感じさせる独特の作曲にも定評がある。2008年 ニューヨークにてサクソ奏者マーク・ターナーを迎えてレコーディング。2011年7月、ファースト・リーダー・アルバム『What do you recommend in New york?』発表。



浅井翔太 (Drums)

6歳から電子オルガン、11歳よりドラムを習い始める。ヤマハ PMSで伊藤孝志氏に師事。2007年名古屋音楽大学ジャズ・ポピュラーコースに入学しジャズドラムを黒田和良氏に師事。クラシックパーカッションを岡田知之、山口恭範、栗原幸江の各氏に師事。2011年名古屋音楽大学を卒業。同年夏に渡米し、Centrum Jazz Workshopに参加。Jay Thomas、Gary Smulyan、Quincy Davisの各氏から直接指導を受ける。2019年2月号のドラム専門誌「リズム & ドラム・マガジン」にインタビュー記事が掲載される。現在はジャズクラブを中心にライブ活動する傍ら、イベント・ラジオ・CM出演、レコーディング等にも参加。